

平成 29 年 2 月 18 日

各位

社会福祉法人うねび会
理事長 酒井 宏和

平成 28 年度 アンケートについて

いつもお世話になっております。

このたびは、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果につきましては、『from ぽれぽれ』平成 29 年 5・6 月号でご報告させていただく予定です。いただきました貴重なご意見、ご希望等につきましては、今後の施設運営に活かしてまいりたいと思っております。取り急ぎ、下記の通りご回答させていただきます。

記

【グループホーム】

面会に行くと、お茶を出してくれるが、遠方から来られた面会の方は別として、市内からの面会の方にお茶のサービスは必要だろうか。そんな気を遣ってもらいより、利用者との関わりに使っていただく方がありがたい。

貴重なご意見ありがとうございます。利用者様とご家族様に、お茶でも飲みながら楽しいひと時を過ごしていただけたらと思います、お出しさせていただいております。

日常様々な行事を企画していただいているが、本人は全く興味を示さずにいる。どうすることもできないのか、それとも何か解決策があるのか、専門家の意見を聞きたい。

どの方にも興味をもって楽しんでいただけるよう、色々な行事を考えております。

その方により波はございますが、楽しんでいただけるような場づくりを心がけ、一緒に楽しんでいただけるよう努めております。また、全体の行事とは別に、ご本人様やご家族様からそれぞれの方のお好みをお聞きしながら、個々に合わせたレクリエーションも考えさせていただいております。

気軽な運動を多めにしてもらいたい。

全体での体操等は勿論ですが、個々に合わせた軽度な運動や生活の中でのリハビリなども取り入れさせていただいております。又、天気の良い日は外気浴や散歩等され体を動かされています。

【特別養護老人ホーム】

職員の異動や、リーダー変更の場合、教えてほしい。

家族の会などでは職員の異動などご説明しておりますが、今後は異動などがあった場合は、面会時などにご挨拶をさせていただくようにいたします。

スタッフの方がよく替わるのが気になる。

スタッフ（特に介護職）の入れ替わりがあるとのこと指摘、ご心配かけて申し訳ございません。確かに開設当初は離職率が高かったですが、今年度は離職者も減ってきております。引き続き、働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。

【デイサービス】

風呂が男女兼用と聞いているが、後に入る人（男 or 女）の時、一度浴槽はリセットされているのか？男性の入った後、もしくは女性の入った後ということで、何もなかったら嫌な方もいる（風呂の運用を教えていただきたい）

大浴槽ですが、銭湯などと同じで循環ろ過機能を使用しておりますのでご安心ください。ひのき浴槽については、その都度入れ替えております。

ものを作ったりするのが好きなので、機会があればお願いしたい。

ご利用者様に楽しんでいただこうと、職員も勉強させていただいています。

朝 9:00 頃に迎えに来てもらっているが、15 分～20 分遅れる時は電話をいただけると嬉しい。

ご迷惑をおかけいたします。ご利用日によって、同乗していただく利用者様が異なりますので、送迎時間が前後するのはご了承いただきたくお願い申し上げます。必要であれば、お迎えの前にご一報入れさせていただきますので、お申し付けください。

もう少し食べものを考えてほしい。（もみない）

食事については、給食委員会で皆様のご意見を頂戴しております。また、お食事の感想等を職員にお聞かせいただけるとありがたいです。いただいた意見は厨房に伝え、食事に反映できるよう努めてまいります。

①マスク着用は感染防止のために必要だと思うのですが、人相や表情が見えなくなるなど、コミュニケーションが図りにくくなりがち。代替方法が思いつかないが、母がマスクをしている人をよく思えないようなので、気になっている。

②あと、胃ろうしている父によく接して下さって感謝している。「胃ろう＝寝たきり、寝かされきり、生ける屍」的に世間では言われているが、世話、ケアの仕方であんなに充実した最期の時になるんだと感動している。そういうことを世の中に発信してもらえたらと思った。(胃ろうを推進するってことではなくて、胃ろうだからもうダメみたいな風潮にメスを入れてくれたらという意味で)

マスクは感染予防の観点からご理解を申し上げます。ただマスクをしていても、表情や身振り手振りも含め、相手に伝わる理解するコミュニケーションを図っていきます。胃ろうについては、そういった終末期や看取りについて皆さんと一緒に考えることができるよう検討していきます。

高齢者にとっての生きがいは、それぞれ個人の思いや考え方の違いがあると思うが、やはり歳と共に気が弱くもなり、体を思うように動かすことができなくなってくる。そういった人たちに希望のある、もっと生きたい、前向きに明日も元気で頑張ろうと思っていただける皆さんと共に、精神的なケアを望む。

生きがいや楽しみが持てて、行きたいと思っただけのデイサービスになるよう、職員で考えていきたいと思います。

病児保育と同様に、高齢者も入院するほどでない体調不良の時、特に認知症のある場合、デイサービスは休まざるを得なくなるのだが、その際に利用できるサービスがあると大変ありがたい。とても難しいとは思いますが・・・そのサービスがあると介護離職は避けられるようになると思う。

そうですね。施設として、ご利用者様やご家族様の希望に沿ったサービスを行政に働きかけていく役割があるとも思っています。必要なサービスを広く知っていただけるよう、またそのサービスの必要性を伝えていけるよう努めていければと思います。

週刊誌や旅行雑誌等、気楽に読める本などを導入してほしい。

お茶タイムは、好きに利用できるが、全くおいしくない。他の施設では、豆をひいたコーヒーを使用されており、利用されている方も匂いに誘われ喜んで飲まれている。

気軽に読める本の購入を考えます。また、いつもとは違うコーヒーの味や香りを楽しんでいただける日も設けていきたいと考えています。

【ショートステイ】

認知症講習会をたびたびしてほしい。いつも色々なイベントをしていただき、ありがたい。

定期的に認知症サポーター養成講座などを行っていますが、今後もそういったご家族向けの講習会などを検討してまいります。

もっと気軽にショートステイに行けるようにしていただきたい。(急な時でも預かってもらえるように)

大変申し訳ありません。できるだけ多くのご利用者様に利用いただけるように、これからも調製させていただきますので、今後ともよろしく願いいたします。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

以 上